

【文学部 アドミッション・ポリシー】

教育内容・特色

人文学科1学科制のもとで、「哲学・芸術学」「地理学・社会学・文化人類学・社会文化学」「心理学」「歴史学・考古学」「言語文化学」の5つの教育分野を設け、幅広い学習を保証しています。1年次生は「人文学の基礎」を含む教養教育科目に加え、「人文学入門演習」「人文学の論点」などの専門教育科目を履修することを通して、人文学のエッセンスを学ぶとともに、専門分野の決定に結びつけていきます。2年次以降の学生は、主専攻プログラムを通じて「人文学概説」で各分野の学問の体系的な知識を身につけ、「人文学講義」で研究の最先端の成果を学びます。また「実践演習」「課題演習」では、研究方法に関する指導を受けながら、学びの集大成としての卒業論文に取り組みます。分野の枠を超えたテーマを扱う総合人文学プログラムの修得を推奨するとともに、資格取得のための心理職養成プログラムや学芸員養成プログラム、留学を目指す外国語習得・留学プログラム、さらには、専門性の高い研究指導を行う研究力養成プログラムを通じて豊かな経験と感性を育み、人間の築き上げた文化に対する理解を深めます。そして、複雑で多様な現代社会を生き抜くために必要な思考力と表現力を身につけ、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成しています。

求める人材

文学部人文学科では、高校で履修した基礎的な知識を備え、課題を発見し解決していく意欲と能力をもち、論理的な思考とそれを的確に表現する力量を備えている人を求めます。入学後は次のような人材に成長できる人を求めています。

1. 哲学・倫理・芸術に関心をもち、幅広く本や芸術作品に親しんでいる人
2. 心や行動、社会や文化、それらと自然環境との関係や地域性に関心をもち、自ら情報を収集して、データに基づいた議論に取り組める人
3. 日本と世界の歴史や異文化に関心があり、斬新な発想と論理的な思考で、過去と現代のつながりを学ぼうとする意欲のある人
4. 言葉そのものの仕組みや歴史、言葉の多様性と普遍性、地域・社会・文化と言葉の関係などに関心や問題意識があり、それらについて科学的に研究する方法を学びたいと思っている人
5. 言葉と文化に対する感性を養いつつ、人間および世界について問うことで、現代社会と積極的に関わろうとする意欲をもつ人
6. 地域・世界のあり方を把握し、持続可能な社会を実現することに強い意欲を持つ人

入学後の学修のため、特に以下の教科の内容を修得していることが望まれます。

【国語、外国語、地理歴史、公民】

入学者選抜の基本方針

・一般選抜(前期日程)

5～6教科の大学入学共通テストを課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価します。個別学力検査では、国語及び外国語(英語)の2教科を課し、人文学を学ぶ上で基盤となる科目への理解度と応用能力を評価します。

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験を課し、基礎的な日本語能力を評価します。日本語作文を課し、人文学を学ぶ上で重要な論理的思考力、読解能力、表現能力を評価します。また面接を課し、多面的な質問を行い、学習意欲や人文学科への適性を評価します。これらを総合して最終的な評価をします。

・国際バカロレア選抜

成績評価証明書、自己推薦書及び評価書により、人文学を学ぶ上で重要な基礎学力、自己表現力及び学習意欲を総合的に評価します。

・総合型選抜(大学入学共通テストを課すもの)

大学入学共通テストにより、高等学校卒業レベルの総合的な基礎学力を評価します。面接(口述試験を含む)および自己推薦書により、人文学を学ぶ上で重要な思考力・判断力・表現力を評価します。また、面接(口述試験を含む)を課し、多面的な質問を行い、学習意欲や人文学科への適性を評価します。これらを総合して最終的な評価をします。

学力の3要素対応表

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜(前期日程)	○	大学入学共通テスト	◎	個別学力検査(国語, 外国語)	☆	調査書
総合型選抜(大学入学共通テストを課す)	○	大学入学共通テスト	◎	面接(口述試験を含む), 自己推薦書, 調査書	○	面接(口述試験を含む), 調査書, 自己推薦書

(注) ◎は特に重視する要素, ○は重視する要素, ☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は、「主とする資料」であり、それ以外の要素でも活用する場合がある。